

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2006-336021(P2006-336021A)
 【公開日】平成18年12月14日(2006.12.14)
 【年通号数】公開・登録公報2006-049
 【出願番号】特願2006-222576(P2006-222576)
 【国際特許分類】

C 0 8 F 2/18 (2006.01)
C 0 4 B 38/06 (2006.01)
B 0 1 J 13/14 (2006.01)
B 0 1 D 39/00 (2006.01)
B 0 1 D 39/20 (2006.01)

【F I】

| | | |
|---------|-------|---|
| C 0 8 F | 2/18 | |
| C 0 4 B | 38/06 | D |
| C 0 4 B | 38/06 | E |
| C 0 4 B | 38/06 | G |
| B 0 1 J | 13/02 | B |
| B 0 1 D | 39/00 | B |
| B 0 1 D | 39/20 | D |

【手続補正書】
 【提出日】平成19年5月24日(2007.5.24)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

多官能モノマーを含む重合用モノマー成分100重量部を重合用モノマーとは反応しない有機溶剤1～400重量部と混合した重合用モノマー溶液を、分散安定剤を含む極性溶媒に懸濁せしめた後、重合用モノマー成分を重合させて、有機溶剤を内包するポリマー粒子を得て、得られたポリマー粒子中の有機溶剤を除去する多孔質中空ポリマー粒子の製造方法であって、混合される重合用モノマー成分と有機溶剤の溶解度パラメータ(S P 値)の差が $1.0 \text{ MPa}^{0.5}$ 未満の時は、重合用モノマー成分に占める多官能モノマーの割合が少なくとも5重量%以上であり、 1.0 以上 $1.5 \text{ MPa}^{0.5}$ 未満の時は、重合用モノマー成分に占める多官能モノマーの割合が少なくとも20重量%以上であることを特徴とする多孔質中空ポリマー粒子の製造方法。

【請求項2】

分散安定剤が部分ケン化ポリ酢酸ビニル、セルロース誘導体、ポリビニルピロリドンの少なくとも一つである請求項1に記載の多孔質中空ポリマー粒子の製造方法。